

平成23年3月11日発生 東日本大震災

みやぎの農業農村 復旧復興のあゆみ

再生から創造的な復興へ (更新版)

平成29年3月
宮城県農林水産部
農村振興課
農村整備課
農地復興推進室

平成23年3月11日発生 東日本大震災

みやぎの農業農村復旧復興のあゆみ～再生から創造的な復興へ～

平成29年3月 宮城県農林水産部

農村振興課
農村整備課
農地復興推進室



宮城県農林水産部

今後とも宮城県への
応援をよろしくお願いします。

「みやぎの農業農村復旧復興のあゆみ」の発刊にあたって

宮城県内に未曾有の被害をもたらした平成23年3月11日の東日本大震災から6年が経過しました。全国の皆さまから多くのご支援をいただき、復旧復興が着実に進んでいます。

これまで本県では、津波被災地域全体の復旧復興工程を示すロードマップを公表し、早期の営農再開を目標に震災直後から迅速な復旧に取り組んだ結果、営農再開地域は9割を超すまでに拡大してきました。過去に経験したことのない大規模災害からここまで復旧できたのは、被災者の皆さまの並々ならぬ御努力と関係職員の一丸となった奮闘に加えて、国や関係機関からいただいた多大なる御支援の賜物と深く感謝申し上げます。

また、各都道県から限られた人員体制にもかかわらず、地方自治法等に基づき多数の職員を本県に派遣していただいております。農業土木分野においては、平成27年度までに全国28都道県から延べ555名、また、平成28年度は26道県から55名の職員派遣をいただいております。感謝の念に尽きません。

本県は、全国の皆さまからの御支援への感謝と併せて、震災による未曾有の災害から地域が再び立ち上がってきた記録を継承するため、「みやぎの農業農村復興 未来への伝承・架け橋プロジェクト」を平成24年度より実施しております。これは本県に職員を派遣してくださった都道県を中心に、パネル展やセミナーを開催し、感謝の意を伝えるとともに、これまでの取組の成果について発信していきたいとの考えによるものです。本誌もその一環として、平成28年度が宮城県震災復興計画における「再生期」の3年目となりますことから、復旧復興状況及びこれからの取組について更新整理しております。本誌を御覧いただき、東日本大震災の記録として、将来の災害に向けて防災・減災の参考にしていただければ幸いです。

今後も、全国の皆さまの御支援に支えられながら、前に進んでまいりたいと考えておりますので、なお一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成29年3月 宮城県農林水産部長 後藤康宏



目次

I 被害の概要

1. 宮城県内の東日本大震災被害概要	1
2. 太平洋沿岸6県の被害状況	2
3. 地殻変動による地盤沈下	2
4. 農地・農業用施設等の被害状況	4
5. 沿岸部の農地・農業用施設等の被害状況	6

II 復旧復興に向けて

1. 宮城県震災復興計画	39
2. みやぎの農業・農村復興計画	40
3. 復旧復興に向けた組織体制整備	42

III 復旧への取組

1. 農業農村整備の初動対応	49
2. 早期復旧のための関係法の制定	56
3. 復旧の基本的な流れ	57
4. 応急排水対策	58
5. 応急復旧対応	58
6. 災害廃棄物（瓦礫）処理	59
7. 農地の除塩	61
8. 災害査定	62
9. 農地の除塩用水	70
10. 災害復旧工事	74
11. 直轄災害復旧	85
12. 土地改良区への支援対策	88
13. 被災農家への支援対策	92

IV 復興への取組

1. 震災復興に関する関係法の制定	93
2. 東日本大震災復興交付金事業への取組	94
3. 復興への取組～創造的な復興へ～	96
4. 各種事業制度を活用した取組	97
5. 災害協定の締結	103

V 地域毎の復旧復興状況

1. 地域毎の復旧復興状況	105
2. 沿岸地域の復興に関する取組	108
3. 沿岸地域の復興に関する成果	112
4. 管内市町村毎の災害復旧・復興の取組状況	118

VI 未来への伝承・架け橋プロジェクトの概要と実績

1. 未来への伝承・架け橋プロジェクトの概要と実績	127
2. 平成28年度みやぎの農業農村復旧復興パネル（抜粋）	129

VII みやぎの農業農村復旧復興のあゆみ

みやぎの農業農村復旧復興のあゆみ①（平成23年）～⑥（平成28年）	131
-----------------------------------	-----

VIII 参考資料

1. 技術成果発表要旨集	
宮城県/宮城県農村振興技術連盟関係	137
農業農村工学会関係	195
2. 土地改良区理事長及び宮城県職員の手記	231